

1 指導と評価の計画

【評価規準】(関・意・態 思・判 技・表 知・理)

過程	時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準	評価基準			評価方法
					A(3)	B(2)	C(1)	
授業設定	2	<p>見通し1</p> <p>「高齢者福祉」というテーマでグループ全体でウェビングを行い、高齢者福祉についての意見を出し合い追究の方向性を決める。</p> <p>ウェビングマップからそれぞれの分担を決め、聞き取り調査を行うための準備をする。</p>	<p>教師が適宜アドバイスを与えウェビングがよりスムーズにかつ広がりをもちつように支援する。</p> <p>一人一人に意見を発表させ、学習対象の「高齢者福祉問題」について自分なりのイメージがもるようになる。</p> <p>聞き取り調査では共通質問「幸せを感じる時は？」と自分の分担について「困っていることや不安を感じることは？」の質問を行う。</p>	<p>高齢者福祉全体にイメージをもつことができる。</p>	<p>高齢者福祉について自分なりの考えをもウェビングへのアイデアを10個以上考えることができる。</p>	<p>高齢者福祉について自分なりの考えをもウェビングへのアイデアを5から9個考えることができる。</p>	<p>高齢者福祉について自分なりの考えをあまりもつことができず、ウェビングへのアイデアが4個以下である。</p>	学習シート1への記入
	1	<p>聞き取り調査の結果を発表し合う。</p> <p>全体で「高齢者にとって幸せとは？」というテーマで再度ウェビングを行い、高齢者福祉の問題の全体像をつかむ。</p>	<p>聞き取り調査の結果は事前に集めて印刷し、共有できるようにする。</p> <p>前回のウェビングの結果を発展させる形で行うことで、高齢者福祉全体のイメージを作り上げる。</p>	<p>高齢者の立場を理解し、高齢者福祉問題について課題意識がもる。</p>	<p>高齢者の気持ちを理解し、高齢者福祉問題について考え、ウェビング中に3回以上意見を発表している。</p>	<p>高齢者の気持ちを理解し、高齢者福祉問題について考え、ウェビング中に1・2回意見を発表している。</p>	<p>高齢者の気持ちがあまり理解できず、ウェビング中に意見を発表できない。</p>	ウェビングの場面の様子の観察
	2	<p>ウェビングの全体像から自己の追究したい課題を決め、追究の道筋を考える。</p>	<p>全体ウェビングの結果を全体で再確認し、それぞれの方向性が全体にわたるよう調整する。その後、各自で追究課題を考える。</p> <p>追究課題が決まった人から追究の道筋を考えさせ、教師が適時アドバイスを与える。</p>	<p>主体的に自己の追究課題を決めることができる。</p>	<p>課題意識をもち主体的に自己の追究課題を決め、その理由を明確にできる。</p>	<p>教師のアドバイス等を参考にしながら自己の追究課題を決めることができた。</p>	<p>自己の追究課題をはっきりと決めることができない。</p>	学習シート2への記入
授業進め	1	<p>見通し2</p> <p>自己の追究課題について、追究の道筋を再確認するとともに追究の方法を検討する。</p>	<p>自己の追究課題について、共通の視点を中心に追究を進めること確認する。</p> <p>共通の視点についての理解し、記録ができるように例を示す。また課題追究シートの記入の仕方について</p>	<p>共通の視点について理解し、追究への見通しをもつことができる。</p>	<p>共通の視点について理解し、追究の方法を3つ以上あげることができる。</p>	<p>共通の視点について概ね理解し、追究の方法を1・2個あげることができる。</p>	<p>共通の視点の意味がはっきりと分からず、追究の方法をあげることができない。</p>	自己課題設定シートへの記入

2 学習指導案

(1) 第1から5時 見通し 1

- 1 ねらい 高齢者福祉について課題意識をもち、ウェビング及びブレ調査活動を通して、追究の見通しを立て、自己の追究課題を設定することができる。
- 2 準備 学習シート1・2・3・4
- 3 評価規準
 - ・ウェビングやブレ調査活動を通して高齢者の考えや思いにふれ、高齢者福祉に対して主体的に追究しようとする。(関・意・態)
 - ・高齢者の置かれている現実や問題点の全体像をイメージし、それらについて課題意識をもち、試みようとする。(思考・判断)

4 展開

第1・2時

(関・意・態 思・判 技・表 知・理)

	学習活動及び生徒の意識(＊)	支援および留意点	時間	見取りの視点 (見取りの方法)
つかむ	<p>「高齢者にとっての幸せとは？」というテーマで学習をすすめることを知る。</p> <p>* 高齢者の幸せって何だろう</p> <p>* うちのおばあちゃんはどうな気持ちでいるのだろう</p> <p>* 近所に一人暮らしのお年寄りがいるけど、幸せなのかな？</p> <p>高齢者福祉について浮かぶイメージやフレーズを書き出す。</p> <p>* 介護・寝たきり・老人ホーム・年金・ゲートボール・年金・病院・ヘルパー・バリアフリー・車いす・ポケ・家族等々</p>	<p>・高齢者についても持っている自分のイメージをつかませるために、いくつかの例をあげたり生徒から身近な高齢者の話を引き出したりする。</p> <p>・なるべく多く書けるよう、途中いくつかの例示やヒントフレーズ等を示す。また机間指導で個々にアドバイスを与える。</p>	15	<p>高齢者福祉の問題について多くの記入ができた。 (学習シート)</p>
追究する	<p>それぞれのもちったイメージをもとにグループウェビングを行う。</p> <p>* みんな色々考えているんだな</p> <p>* 自分が書いたのと違うのが、たくさんあるな</p> <p>* 高齢者のことについてもっと調べてみたい</p>	<p>・それぞれの書いたフレーズを発表し、それを黒板上で整理する形でウェビングを行う。途中、さらにイメージをふくらませるように、具体的な事例が思い浮かぶ発問をし、随時修正を加え全員で作り上げた気持ちをもるようする。</p>	50	<p>ウェビングに参加し、意見を言うことができた。 (行動観察)</p>
振り返る	<p>ウェビングマップからそれぞれの担当を決め、次回までに身近な高齢者に聞き取り調査を行って確認する。また、そのための準備をする。</p>	<p>・ウェビングマップをもとに、各分野ごとに分かれ、それぞれの担当を決め、聞き取り調査の内容を考える。</p> <p>例 高齢者とお金…「収入の方法は?」「金銭面での不安や悩みはありますか?」 高齢者医療…「医者にはどれくらい行きますか?」「病院や医療に対して不満や希望はありますか?」 高齢者の生活…「最近、生活で便利になったことは何ですか?」「生活面で困っていることは何ですか?」「一人暮らしで困ることは何ですか?」</p> <p>・各担当の内容以外に、共通質問として「幸せを感じる時は?」を行う。</p>	35	<p>自分の担当について主体的に聞き取り調査の準備に取り組めた。 (学習シート)</p>

第3・4・5時

	学習活動及び生徒の意識(＊)	支援および留意点	時間	見取りの視点 (見取りの方法)
つか	<p>聞き取り調査の結果を発表し合う。</p> <p>* 高齢者の気持ちが少し分かってきた</p>	<p>・事前に各自の聞き取り調査の結果を集め印刷し、配布することで調査結果の共有意識を高め</p>	25	<p>聞き取り調査に主体的に取り組めた。</p>

む	<p>* 高齢者を取り巻く色々な問題があるんだな</p> <p>* 高齢者の悩みをもっと詳しく聞いてみたい</p>	<p>る。</p> <p>・聞き取り調査で分かったこととともに、感想も発表することで、課題を主体的にとらえられるようにする。</p>		(学習シート)
追	<p>聞き取り調査の結果をふまえて、前回のウェビング図に書き加える形で再ウェビングを行う。</p>	<p>・聞き取り調査の結果をウェビング図に反映させることで、ウェビングが深まったことを意識させ、生徒の中に高齢者福祉の全体像のイメージができるようにする。</p>	25	<p>高齢者福祉の全体像がつかめた。</p> <p>(学習シート)</p>
究	<p>ウェビング全体像の中から、自己の追究したい課題を見つける。</p> <p>* 高齢者の生きがいとは</p> <p>* 高齢者の介護</p> <p>* 高齢者用グッズについて</p> <p>* 年金とは</p> <p>* 高齢者の悩み</p> <p>全体で話し合い担当の分野を決める</p> <p>1 高齢者の生活・悩み 2 高齢者の生きがい</p> <p>3 高齢者の体の変化と医療 4 高齢者とお金</p> <p>5 高齢者へのケア</p>	<p>・ウェビング図を中心に高齢者福祉に関する問題の各側面について調べてみたいことを書き、自分の追究したいことをみつける。</p> <p>・それぞれの希望とワークシートの内容を発表し合い、調整して担当の分野を決める。その際、それぞれの希望を大切にしながら、個々の特性に応じた分担になるよう助言する。</p>	50	<p>主体的に担当分野が決め、追究への意欲がもた。</p> <p>(学習シート)</p>
振	<p>全体ウェビング図を参考にして、自分の担当した分野についてウェビング的に発想を整理することで、追究の方向性と追究課題を決める。</p>	<p>・各自でウェビング的に発想を整理し、追究の方向性を考えることで、追究の道筋がより明確になるようにする。</p> <p>・同じ分野の生徒で、お互いの課題の関係への認識を深めるために、情報交換を行う。</p>	25	<p>多くの追究の方向性を考え、その中から自己の課題に適した道筋がみつけれられた。(学習シート)</p>
返	<p>追究の道筋を考える。</p>	<p>・何のために何を調べるかを明確にすることで、追究の段階を考えやすくする。</p> <p>・共通の視点(公共性・経済性・感情面・将来の姿)について簡単にふれ、道筋を考えるヒントする。</p>	25	

(2) 第6時から16時 見通し2

- ねらい 高齢者福祉の自己追究課題について、追究の視点を決めて(公共性・経済性・感情面・将来の姿)追究を行うことで、高齢者の置かれて現状や問題点を知ること知り、それらの関連や背景について考えることができる。
- 準備 学習シート4 課題追究シート
- 評価規準
 - ・高齢者福祉にかかわる現状や問題点を知り、それらに携わる人々の気持ちや考えを理解する。(知・理)
 - ・高齢者の置かれている現実や問題点について視点を決めて追究し、それらの関連や背景について考えることができる。(思考・判断)
- 展開 (関・意・態 思・判 技・表 知・理)

	学習活動及び生徒の意識(*)	支援および留意点	時間	見取りの視点(見取りの方法)
つかむ	自己の追究の道筋をもとに追究の計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・追究の計画が具体的になるように、目的・方法を明確にさせる。 ・見通しがもない生徒には、前回までの全体や個人 	50	<p>追究の計画が立てられた。</p> <p>(学習シート)</p>

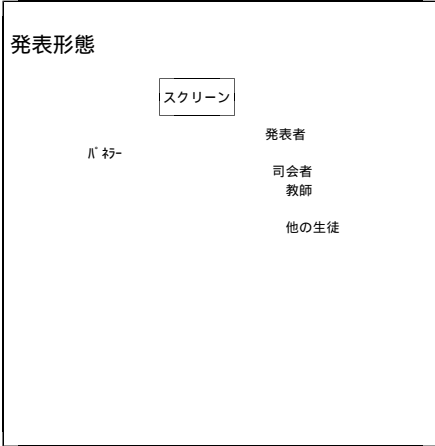
		<p>でしたウェビングの結果等を想起させる等助言する。</p> <p>・共通の視点(公共性・経済性・感情面・将来の姿)について説明し、そのことを意識した追究計画が立てられるようにする。</p>				
	自己課題追究の調査分析活動を行う。	<p>・課題追究シートを基にして、随時アドバイスを与えることで、個々の追究の方向性を保つとともに、追究の視点にそった深まりが生まれるよう支援する。</p> <p>・それぞれの方法や分野に応じて、下記のような支援をそれぞれに適切に行う。</p>	50分×9時間	視点を意識した調査分析活動に取り組めた。(行動観察・課題追究シート)		
追 究 す る	調査・分析の方法ごとの支援及び留意点(太字は重点事項)					
	本等の資料	インターネットの調査	市役所等公共機関への取材	インタビュー等聞き取り調査	高齢者へのアンケート調査	施設等の訪問・見学
	<p>・図書室を中心に、市立図書館や学習センター等の資料について一覧を作成し調査がスムーズに進行するよう支援する。</p>	<p>・キーワード検索及びリンク集を活用できるよう個別に支援する。</p> <p>・調査結果については、分かったことを記録し、内容は後で整理できる形で保存させる。</p>	<p>・関連する生徒に話合わせ、協力して取材するようにさせる。</p> <p>・取材項目や内容について事前にしっかりと吟味するよう助言する。</p> <p>・共通の視点の公共性を意識した取材を心がけるよう助言する。</p>	<p>・高齢者及び関係者の切実な声を大切にした追究のために、聞き取り調査を積極的に行う。</p> <p>・相手内容等をしっかりと検討し、ポイントポイントを含め相手方の気もを大切にされた調査が行えるよう助言する。</p> <p>・共通の視点を意識した質問ができるようにする。</p>	<p>・全体で1つのアンケートを作成し、全員で調査を行う。</p> <p>・班員 21 名が各5人程度調査することで行うようにする。</p> <p>・アンケート項目内容表現等をしっかりと話し合わせる。</p> <p>・調査結果の考察においては、共通の視点を大切にまとめてることを意識させる。</p>	<p>・交流活動を活発に行い、その中で生の姿や声をつかみとらせる。</p> <p>・事前調査を充分に行わせ、訪問や見学の目的と視点を明確にするよう助言する。</p> <p>・交流活動については相手方の都合や考えに十分に留意するよう支援する。</p>
担当分野ごとの支援及び留意点						
	高齢者の生活	高齢者の生きがい	高齢者と趣味	高齢者の体	高齢者医療	高齢者とお金
	<p>・インタビューやアンケートを実施し、生活の様子や悩みを具体的にわかむよう助言する。</p> <p>・用具や器具についてはインターネットの情報だけでなく実物等、生の姿にふれられるよう支援する。</p>	<p>・高齢者の生きがいの実態を把握し、そのための社会のあり方を考えるよう助言する。</p> <p>・基本的に「家族」「趣味」「仕事」の3つの側面を大切にす。</p>	<p>・高齢者と生きがい担当と連携してすすめる。</p> <p>・趣味を楽しむ人とその趣味を支援する社会的状況について考察するよう支援する。</p> <p>・趣味のサークルへの体験入門等も積極的に行わせる。</p>	<p>・高齢者の体の変化について、聞き取り調査等を中心に生の姿を浮き彫りにする。</p> <p>・高齢者医療担当と連携してすすめる。</p> <p>・体の変化とともに感情面での変化にも着目させる。</p>	<p>・インターネットや本等で基本的な知識をもった上で、老人ホームや病院を訪問し、それらにかかわる人と交流を通して現代医療の実態に深く迫ることを目指させる。</p>	<p>・年金、介護保険、消費被害等それぞれの担当の連携を計り、多方面から高齢者を取り巻くお金の問題に迫れるようにする。</p>
振 返 る	課題追究シートへの記入を行い、その日の追究を振り返る。	<p>・調査分析活動の各終了 10 分前に、課題追究シートの「追究して分かったこと」を記入し、自己の追究の段階を意識するとともに、次回の追究への見通しをもつ。</p>		各終了前 10分	自己の追究の深まりを意識することができた。(課題追究シート)	

(3) 第17時から20時 見通し3

- ねらい それぞれの追究課題に対して、追究の視点を中心にしたパネルディスカッションを行い、高齢者福祉の諸側面の課題等を理解し、これからの高齢者福祉のあり方について考えるとともに自己の追究を見直す。
- 準備 学習シート5 アドバイスシート 実物投影機 プレゼンテーション用パソコン

- 3 評価規準 ・自己の追究課題について、共通の視点を意識して分かりやすく発表することができた。(技能・表現)
 ・パネルディスカッションを通して、高齢者の置かれている現実や問題点を理解し、それらの関連や背景について考えることができる。(思考・判断)

4 展開 (関・意・態 思・判 技・表 知・理)

	学習活動及び生徒の意識(＊)	支援および留意点	時間	見取りの視点 (見取りの方法)
つかむ	パネルディスカッションを行うことを知り、自己の追究の結果を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題追究シートの「追究して分かったこと」を中心にパネルディスカッションで2分程度の発表ができるようにまとめる。 ・共通の視点を意識した発表ができるよう、発表のひな型を提示する。 	50	共通の視点を意識した発表の準備ができた。(発表用原稿)
追究する	<p>パネルディスカッションを行い、お互いの考えを聞くとともに交流をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発表形態</p>  </div> <p>* 高齢者には様々な問題があり、それらが関係しているんだ。 * 高齢者の生活向上のために、色々な面で援助がなされているんだ。 * 自分の調べたこと関係があるんだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交代で司会を行い、意見交流の方法を身につける。 ・同じ分野の生徒がパネラーとなり、自己の追究と比較して発言ができるよう支援する。 ・教師はアドバイザーとして参加し、進行の補助をするとともに、それぞれの追究の全体像の中での位置づけや、お互いの追究の関連に視点が向くよう助言をする。 ・他の生徒は、それぞれの発表について、気付いたことをメモし、アドバイスシートに記入する。 <p>分野別一覧</p> <p>1 高齢者の生活・悩み … 「高齢者の生活」「高齢者の悩み」「独居老人の生活」 2 高齢者の生きがい … 「高齢者の生きがい(家族・趣味・仕事)」「高齢者の趣味」 3 高齢者の体の変化と医療… 「高齢者の体の変化」「高齢者医療」「認知症」 4 高齢者とお金 … 「年金」「介護保険制度」「高齢者詐欺」 5 高齢者へのケア … 「老人ホーム」「自宅介護」「ホームヘルパー」「高齢者用具」「バリアフリー・ユニバーサルデザイン」</p>	100	意見交流を通して高齢者福祉の現状と課題について理解できた。(学習シートアドバイザー)
振り返る	パネルディスカッションでの気づきをもとに、自己の追究の見直しをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションでのパネラーの意見やアドバイスシートを参考にして自己の追究の補足調査の計画を立てる。 ・アドバイスシートは個々に整理して、教師のアドバイスも加えて個々に配布し、自己の追究の見直しの支援とする。 	50	自己の追究の足りない部分に気づき、さらなる追究への意欲がもた。(学習シート)

3 「総合的な学習の時間」 内容系列表 館林市立多々良中学校

領域	領域の目標	領域の内容	各学年の内容	
			中学校1・2年	中学校3年以上
情報	様々な学習や生活との関連において、多くの情報の中から自分に必要な情報を収集・選択し活用することができる。情報の積極的かつ責任ある発信ができる資質や能力を育てる。	ア情報収集と活用 イ責任ある情報の発信	ア課題や目的に応じて情報手段を適切に活用し、必要な情報を収集・選択・整理・処理し、生活に生かすことができる。 イ社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼす影響を理解すると共に、受け手の状況などを踏まえ責任ある情報の発信ができる。	ア課題や目的に応じて情報手段を適切に活用し、収集・選択した情報を判断し、分析すると共に生活に生かすことができる。 イ社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼす影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする。
環境	身近な自然に積極的にかかわり、自然のもちつ豊かさや大切さに関心、生活と環境とのかかわりについて理解を深め、自然と共生し、自分にできる方法での環境保全やよりよい環境を創造する資質や能力を育てる。	ア自然に対する感受性や環境への関心 イ環境問題と生活様式とのかかわりについての理解 ウ環境保全やよりよい環境創造のために、主体的に行動する実践的態度	ア身近な自然を見直し、自然保護に必要な生活のあり方を考える。 イ生産・流通・消費といった人間の生活の営みが、様々な面で環境に影響を及ぼしていることを理解する。 ウよりよい環境創造、経済活動や生活様式の変化など多面的な視点から環境問題をとらえ、自分ができること考えたり、実践したりする。	ア地域規模・地球的規模の環境問題、自然破壊等を多様な視点から科学的に分析し、産業と自然や環境とのあるべき姿を考える。 イ人間と環境との関連性を幅広くとらえる中で諸矛盾を見出し、人間の責任や役割について理解し、よりよい自然との共生について考える。 ウ環境問題の解決やよりよい環境の創造のための取組の裏にある諸矛盾に気づき、将来にわたって考えていかなければならないことは何かを考え、自分なりの日常的実践を行う。
福祉	自分を含め、様々な人々がそれぞれに生きがいをもって生きようとしていること、そのためにお互いに助け合っていることを理解し、より一層充実した福祉社会の実現に貢献する資質や能力を育てる。	ア他者への尊重・尊敬・思いやりなどの豊かな人間性 イ福祉にかかわる社会の特質・問題の理解と、介護・福祉などの	ア地域の人々との交流や体験活動を通して、高齢者や障害者などを正しく認識すると共に、互いの違いや個性を認め合い、尊重し、思いやりをもって接する。 イ高齢者や障害者などの置かれている現実など現代社会の福祉にかかわる現状や問題点をとらえると共に、ボランティア活動などの体験等を通し	ア誰もが障害をもちつ可能性があり、高齢者になることを前提に、高齢者や障害のある人々は特別な存在ではないし、その人格が尊ばれ、一般の社会の中に普通に参加し、平等に生きる権利があることを認識する。 イボランティア活動などを通して様々な福祉にかかわる問題を認識し福祉政策や社会的諸サービスが対等の生活原理であることが分かる。

		<p>課題についての認識</p> <p>ウよりよい福祉社会実現のために、主体的に行動する実践的態度</p>	<p>て福祉に対する認識を深める。</p> <p>ウ身近な福祉問題の解決やよりよい福祉社会実現への様々な取組やそれに携わる人々の気持ちや考えを知り、自分ができるところを発信したり、実践したりする。</p>	<p>ウ福祉にかかわる様々な問題について、日本と諸外国の取組とを比較したり、福祉政策の問題点について分析したりして、考えをまとめ、提言として発信していく。</p>
地域	<p>自分たちが暮らしている地域に愛着をもち、家庭や学校を含めた地域の生活上の諸問題について理解を深め、自他を尊重しつつ、地域社会の一員としてよりよい民主的な生活の実現に意欲的、協力的に取り組もうとする資質や能力を育てる。</p>	<p>ア地域の伝統・文化・行事・生活習慣・政治・経済・産業などの現状や問題点の理解</p> <p>イ地域や学校等の行事や活動、生活上の問題等の解決に向けて自他を尊重して協力的に取り組もうとする態度</p>	<p>ア地域や生活上の問題について地域の専門家や様々な立場の人の意見を聞いたり、客観的、科学的にとらえたりして解決の方向性を探る。</p> <p>イ地域社会を構成する一員としての自覚と誇りをもち、他と協力してよりよい郷土の創造を目指した取組を行う。</p>	<p>ア地域社会の現状や問題点を政治、経済、産業等、多面的、多角的な視点からとらえ分析・判断し、解決しようとする。</p> <p>イ地域社会を構成する一員としての自覚と誇りをもち、自他を尊重しつつ、よりよい社会の実現を目指して、その発展に尽くそうとする。</p>
進路	<p>それぞれの職業の大切さや労働の意義について理解すると共に、自己の適性や将来について考え、個性豊かによりよく生きていくことができる資質・能力を育てる。</p>	<p>ア具体的な活動や体験を通しての職業観・労働観の拡充</p> <p>イ自己の価値観の確立</p>	<p>ア職業調べや職場体験を通して、働くことの喜びや厳しさ、働く人たちの仕事に対する思いや責任感にふれ、労働の意義について考える。</p> <p>イ自己の適性や将来の職業選択を視野に入れ、自己を高めていくために何が必要か考え、取り組もうとする。</p>	<p>ア職業調べや職場体験等を通して、職場には性差や制度による様々な問題点のあることを科学的に理解し、自己の職業観を振り返る。</p> <p>イ現在や将来を真剣に考え、様々な社会参加のあり方や生き方の選択肢があること、生きがいをもって充実した人生を送ることの意味等を考える。</p>